

<退会の挨拶>

伊藤紀久夫会員

今度こそ退会いたしますが、私はロータリーの精神の素晴らしさはよく知っております。特に看板である職業奉仕は、自分の職業を通して社会貢献するものですが、それに加え留学生などの世界貢献や、地域に対しての社会貢献にも素晴らしい力を発揮しています。またロータリーは親睦を図る場でもあり、今後クラブ奉仕がますます充実していくことを願っています。初めは24名ほどのチャーターメンバーで暗中模索であったのが、今こうして素晴らしい雰囲気です充実していることに感銘を受けています。今後このクラブがますます発展していくことを陰ながらお祈りしております。長い間ありがとうございました。



植松会員

私は昭和61年度に入会させていただきました。当時、例会場は横浜銀行百合ヶ丘支店の会議室でした。平成6～7年度、大橋健一会長の時には幹事を務めさせていただきました。思えば昭和63年に10周年、平成10年に20周年、本年は30周年と3度の周年行事の年に在籍できたことは、非常に幸運なことで素晴らしい感動を皆様と共有することができました。

伊藤会員同様、私もロータリーの諸奉仕活動には全面的に共感しております。今後も皆様の活動を拝見し、できるだけ協力したいと考えております。健康上の理由もあり、30周年を終わったところで退会させていただきますが、長い間の友情に感謝いたします。



本日のプログラム

<本年度を省みて>

佐々木会長

今年度は我がクラブの30周年という大きな行事がありました。いろいろご迷惑をおかけし、ご不満があったかと思いますが、一年間、皆様のご理解とご協力によって会長を勤めることが出来たことをお礼申し上げます。年度初めにある方より、一年間楽しむよう言われました。なるほど苦労ではない、クラブのために頑張れば一年間勤まるのではなかろうかと思いました。その言葉に感謝しています。

まず7月は近郊クラブの訪問がありましたが、クラブによっては大変人数の少ないところもあり、我がクラブは温かみのあるよい雰囲気だと感じました。

8月の納涼家族会に関しては、会場が遠いなどのご意見がありました。1つのことをするのに大抵ご意見をいただきますが、お教えいただいたと受け止めておりました。8月は会員増強拡大月間でしたが、私の力不足で目標の50名への増員には至りませんでした。地区の増強委員長からお教えいただいたのですが、「増強」とはただ会員数を増やすことではなく「増やして強くする」という意味であり、クラブを強く魅力的にすることが第一である、そして私達会員一人一人が強くなることではないか、ということでした。

11月には亀ヶ谷ガバナー公式訪問があり、いろいろご指導いただきましたが、「ロータリーから何かをもらうのではなく、ロータリーのために何ができるかということ、一人一人がロータリーを好きになることが大切である」という言葉が印象に残っています。

1月なると、30周年記念式典に向かって活発に動き出しました。皆様が知恵を出し合って素晴らしい30周年記念式典ができたのではないかと思います。印象に残っているのは渡部玉欄さんが院長をなさっているお忙しい身なのに、わざわざ30周年記念式典に出席して下さったことです。それでは最後に、各委員会の皆様に厚くお礼申し上げます。一年間ありがとうございました。

